

協議会代表退任のごあいさつ

小西博典（千葉市）

2月の総会で代表の役割を塗間初枝様に引き継ぎ、退任いたしました。

振り返りますと、在任6年の間、何とかその役割を務めることが出来たのも役員の皆様を始め会員の皆様のご支援、ご指導のお蔭と深く感謝しております。

私がボランティア活動を始めたきっかけは、ハッピーリタイヤを迎える際に家内から出された四つのお願いの一つ、「昼食を共にしない」にあります。

当時、時間を持て余し、ちば市政だよりに掲載された「昭和の森自然観察会」に何となく参加し、当時の石嶋事務局長から誘われ「ゲンジボタル愛護会」に入会したのが協議会活動のきっかけとなりました。

今まで自然とは全く無縁で、自然に関する知識が全くゼロの私に、協議会の中で活動する機会を与え、ご指導いただいた石嶋様、和仁様、故田口様始め会員の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

協議会活動12年余を通じて得た「ボランティア活動は他人の為ではなく自分の為」との感謝の気持ちを持ち続け自然観察ちばの一員として今後も楽しんでいきたいと思います。

最後になりましたが、塗間代表、伊藤事務局長の新体制で協議会が益々発展されますよう祈念しております

新代表就任のごあいさつ

塗間初枝（四街道市）

この度の総会で、長年、本会の発展にご尽力されました小西代表のあとを引き継ぐことになりました。三十年余、歴史ある本会にあって指導員として未だ研鑽の道半ばの身であり、その責任の重さに戸惑っておりますが、会員の皆様のご支援ご指導をいただきながらつとめてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、ご多分に漏れず、本会も会員数の減少、高齢化、予算の縮小等々の課題を抱え、現状維持に銳意努力しているところであります。そのような中、昨年度初めて指導員講習会を東邦大学、手賀の丘少年自然の家との三者共催で実施することができました。諸事情もありましたが私たちの手で指導員を誕生させ、また一緒に活動する仲間を増やすことができたことは画期的なことでした。同じく昨年、長年の活動実績が認められ、栄誉ある「沼田眞賞」を頂いた小学校自然観察支援ネットワーク（SSN）にみるよう、全国に誇れる活動が定着、継続していることも本会の誇れるところです。一人の小さな声がその輪を広げ、協議会活動の柱の一つとしてその存在を内外に示すすばらしい例です。これら諸先輩が積み上げてきた多くの実績をもとに、協議会の発展に力を注いでまいります。どうぞお力添えをよろしくお願ひ申し上げます。

役員紹介

(任期:2015年～2016年)

代表：畫間初枝*

副代表：盛一昭代（研修会担当）
山田益弘（SSN・親子観察会担当）
山口正明*（東葛しぜん観察会担当）

事務局：伊藤道男*（事務局長）
川北紀子*（事務局担当・昭和の森担当）

会計：浦部純子、小川洋子*

観察会：小林義和（昭和の森観察会・ビオトープの会担当）
佐野由輝（昭和の森観察会・親子観察会担当）
山下美佐子（昭和の森観察会・親子観察会担当）
山岸文子、木下順次（大草谷津田いきものの里観察会担当）

研修会：田中玉枝、佐藤一枝

S S N：佐口美智子

広報：三嶋秀恒（広報担当・会報編集委員長）
太田慶子、高木純一、勝股政雄*（会報編集担当）

会計監査：嶋野正美、岩澤とし子

*印：新任、無印：再任
退任者：小西博典、高井昭夫、宮川榮子、井上智史、八木千里



三嶋 高木 佐口 山岸 佐藤 山下 小林 川北 伊藤 山口 山田 盛一 浦部 小川 嶋野 勝股 畫間